



雪のようせいづくり

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 雪と自然物を使って雪像（雪の妖精）を作る楽しさを味わい、想像力と雪に親しむ心を育むことができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など

【組合せ可能な活動プログラム】 スノーランド遊び、雪上運動会、チューブそり遊びなど

2 活動の概要

バケツやボウル等を使い、自然物を組み合わせて雪像（雪の妖精）を作る活動です。想像力を生かして個性的な雪像を作ることで、雪を使った活動の楽しさを存分に味わうことができます。

- (1) 人数 40人以内
- (2) 対象 幼児～小学4年生
- (3) 期間 1月下旬～3月上旬
- (4) 時間 1～1.5時間（説明・準備10分+活動50分～80分）
- (5) 場所 自然の家活動エリア
- (6) 経費 無料
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<作品例>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	帽子、手袋、長靴、冬の野外活動にふさわしい服装
自然の家	バケツ大・小、ボウル、移植バラ、小枝等自然物、剪定ばさみ・ドライバー(引率者用)

4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
用具支援者	1～2名。自然の家から貸し出す用具類の管理を行う。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<バケツで雪ブロックを作る>






<小枝等の自然物をつける>



<並べて作って、記念写真>

5 活動の流れ

	内 容	
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> ・製作方法について説明 ・用具の使い方と安全管理について説明 	
活 動	<p>① 雪ブロックづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツやボウルなどに雪を積み作ったブロックや球体を数段積み上げる。 <p>② 飾り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の輪切りや小枝、松ぼっくりなどをあしらってユニークな雪像（雪の妖精）を自由に作って楽しむ。 ※自然物の長さの調節等は、引率者が剪定ばさみ等で切ってあげるとよい。 ※小枝等が刺しづらい場合には、引率者がドライバー等で雪像に穴をあけてあげるとよい。 <p>③ 鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品を見て、良い所を伝え合う。 ・雪像（雪の妖精）と記念写真を撮る。 	  
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・作った感想発表などふりかえりをする。 ・活動支援者は用具の後始末や返却をする。 	

6 実施上の留意点

- ・雪質により雪が固まらない等、実施が難しい場合がある。
- ・ブロックを何段も積んで高くする場合、引率者による補助が必要である。

7 安全に実施するためのポイント

- ・用具を使用していない時は、決まった場所に置いておく。（散乱させておかない。）
- ・移植バレー等の扱いには十分注意する。
- ・ブロックを作る雪は決められた場所から集める。（ランダムに雪をとると穴になって危険。）

